

## 新年のご挨拶

生活産業部会 副部長  
PASONA SINGAPORE PTE.LTD.  
Managing Director  
森村 美咲



シンガポール日本商工会議所会員の皆様、新年あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひ申し上げます。

コロナ禍以降、在星日系企業においても働き方の選択肢としてハイブリットワークが定着しつつあります。今年には政労使協議により制定される Tripartite Guidelines on Flexible Work Arrangements もリリース予定であり、国全体で多様な働き方を推進していく動きがみられます。一方で、人材マネジメントやコミュニケーションの部分においては、より難易度を増しているという声も耳にいたします。労働市場に人材は戻りつつあるものの、人材不足はまだまだ楽観できるものではなく、既存社員の育成やリテンションにこれまで以上に注力していくことが重要になっていくと思われまます。

シンガポールの経済団体（SBF）が2023年に公開した全国ビジネス調査の結果では、人材関連の課題に直面していると回答した企業の割合は96%にも上ったと発表されていました。この課題は決して我々日系企業だけの課題でなく、現地企業にとりましても経営上の深刻な課題になっていることが伺えます。生活産業部会は、メディア、人材関連、小売、飲食、観光、自治体、その他個人向けサービスを提供している会員の方々で構成されています。人との接点がビジネスの基盤にある企業の皆様が中心のため、より課題が深刻です。今回 Progressive Wage Model の導入対象業種の拡大に伴い、2022年に対象となった小売業のみならず、2023年には飲食サービス業も対象に加わり、会員企業の皆様は多忙を極める中、様々な対応・配慮に追われた1年であったかと思われまます。

さて、2023年の生活産業部会の活動を振り返ってみますと、対面開催中心となったことにより、直接のコミュニケーションを通じて、参加者の反応をダイレクトに感じられるオンライン開催の良さを改めて感じる機会となりました。

- 3月 会員プレゼンテーション大会（共催）
- 5月 部会総会・懇親会
- 7月 アルビレックスシンガポール観戦会
- 9月 ターフクラブ視察会
- 10月 シンガポール歴史ウェビナー
- 11月 一風堂 河原氏・山根氏講演会



「シンガポールプレミアリーグとアルビレックス新潟シンガポール」ミニセミナーならびに観戦会

中でもシンガポール歴史ウェビナーと「一風堂」創業者河原氏・CEO山根氏の講演会は、大変多くの方々にご参加いただきました。シンガポール歴史ウェビナーでは、北九州市立大学の田村慶子教授にご登壇いただきました。私達 在星邦人が正しい歴史認識を持つこと、そしてシンガポール人の対日観を知ることがいかに重要であるかを痛感するとともに、今後の当地での生活やシンガポール人の方々との関わりについて、改めて考える良い機会となりました。

また、「一風堂」河原氏・山根氏の講演会は、ご家族連れやご友人連れなど幅広い層の方々にお集まりいただきました。“1億人の笑顔とありがとう”を目標に掲げ、決して現状に甘んじることなく、「日本の食文化を世界へ広めていく」という強い覚悟を熱く語っていただきました。改めまして2023年の生活産業部会の諸活動に対しまして、ご登壇いただいた皆様や参加された皆様、開催にご尽力いただきました事務局の方々にこの場をお借りして厚く御礼申し上げます。

2024年もロシアによるウクライナ軍事侵攻の長期化や中東情勢の悪化、中国経済の減速、急激な円安の進行など、先を見通し難い状況が続くと思われまます。生活産業部会では、会員皆様が少しでも前を向いて元気になれるような活動、有意義で役に立つ活動を皆様と共に創って参りたいと思ひます。今こうしている間も、止まぬ紛争下で多くの人々が命の危険にさらされている事実で無力さで胸が締め付けられるような思いになります。豊かさが日常に溢れていると今の有難さに気づきにくいこともあります。『当たり前』の大切さを忘れず、一日一日を大切に、身近にいる家族や社員の方々に日々感謝の気持ちを伝えることを心掛けていきたいものです。

最後となりましたが、JCCI会員の皆様とご家族のご健勝と更なるご活躍を祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。